

日本植物学会の発表で最優秀賞！（5年次河島さん）

◆今回の記事は、大村先生（理科担当）が書いてくれました。

9月15日（日）、日本植物学会第83回大会（於：東北大学川内北キャンパス）の**高校生研究ポスター発表会**に**5年次の河島真冬さん**が参加しました。多くの研究者の方に様々なアドバイスをしていただき、課題も見えてきました。これからの研究を進めていく上でとてもプラスになる大会でした。表彰式で、全高校生のポスターの中から1つ選ばれる**最優秀賞**もいただくことができました。学会後、東北大1年の**本校科学研究部OB**と会い、大学の様子など多くの話を聞くこともできました。下は**河島さんの感想文**です。

日本植物学会での発表は初めてで、自分の研究が、その分野を専門とする研究者の方々に通ずるのか不安でもあり楽しみでもありました。研究発表会では、長い時間をかけて行ってきた研究も、その**何百万分の一の時間**で伝えなければなりません。そのため、なぜこの実験をしたのか、仮説に対する結論は何なのかをしっかりと伝えられるように、**研究のストーリー性を意識して話すこと**を心がけました。また、たくさんの研究者の方々からアドバイスをいただいて、自分では気づかなかった課題に気づき、**今後の研究のヒント**になりました。そして、**最優秀賞**で名前を呼ばれた時は、私の研究が認められたのだと思いとても嬉しく、これからの研究の励みになりました。

今回のような学会での発表では、研究をしている方と**直接コミュニケーションをとること**ができるだけでなく、様々な地方に行きその場所の景色を見たり文化を感じたりできる楽しさもあります。今後も様々な研究発表会や学会に出場して**視野を広げていきたい**と思っています。

